

スクールソーシャルワーカーとして、外国籍の子ども達と接する機会がたくさんあります。

子ども達と接する時、どこの国の子ども等と、特別に意識することはありません。

同じ国で育っても、考え方は様々です。

子ども達と関わる時は、生まれ育った国や宗教等を私自身が勉強しますが、それは、他県から転校してきた子ども達への対応と同じで、特別なことではありません。

子ども達は、世界の宝です。

その宝の子ども達一人ひとりの気持ちを大切に、子ども達のために何が必要かを考えていきたいと思います。

たくさんの皆様のご協力をいただきながら、これからも『子ども達の最善の利益』を大切に、子ども達の心を大切に、支援していきますので、よろしくお願いいたします。